

新たな反動とのたたかいに決起しよう

日刊 勤労千葉

81.3.16

No.691

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（電話）二九三五・六（公衆）（電報）七二〇七

凶暴化する弾圧・処分策動に、怒りの反撃を！

全組合員のみなさん。本紙六九〇号で既報した三月十三日、第八回支部代表者会議で確認された三月ジェット闘争の総合的視点をより充分なものとするために職場集会・対話オルグ等の場で徹底した討論を行うことを冒頭要請する。相互討論を通して総括し、第八回支部代方針をもって勤労千葉三月ジェット闘争の切り拓いた地平をうち固め、より団結を強固にして権力・当局および勤労「本部」スト破り集団の一体となつた新たな反動弾圧・処分・組織破壊攻撃を打ち破ろう。この闘への決起こそ、三月ジェット闘争の成果を真に継承・発展させるものである。

当面する取り組みの基本

第一に、権力・当局および「本部」スト破り集団による闘争弾圧攻撃をはねのけ、助役機関士線見阻止闘争から首都圏はもとより全日本を震撼せしめた五日間ストライキを闘いつた成果に踏まえた強じんな組織体制を確立することである。

「鉄は熱いうちにうて」をことわざとしてだけでなく、大衆的实践をもって組織をうちたえなければならぬ。「金や物」にかえられぬたたかいとしてわれわれは三月決戦を位置づけ、労働運帯・日本労働運動なかんすく国鉄労働運動の戦略的再生、「本部」スト破り集団と結託した国鉄当局の反動秋山差別労政打倒のたたかいとして実現した、この底力をもってすれば、かつてない「本物の自前の労働運動」としての組織体制確立は可能である。

これは同時に「本部」スト破り集団の手先と化して、三月ジェット闘争期間中、スト破り要員に助役機関士線見を積極的に受け入れ、当局に「保護願」を出して公安・当局に警護され、B変作業（スト破り作業）に協力した裏切り者・土屋一派を解体し、銚子支部を早期結成につなぐ道筋でもある。

そして全国鉄内、とりわけ勤労内にほりふつと湧きあがる勤労大改革運動をより着実に推進するテコとなるのである。

第二に、わが勤労千葉のたたかいによって完敗し、それに怖れて焦り凶暴化する権力・当局の弾圧・大量処分攻撃を粉碎するたたかいを構築することである。

三月ジェット闘争が与えた権力・当局への打撃力と「ストなし春闘」策動の中で苦闘する全国の



労働者の魂を揺ぶつたその波及力に恐怖する権力・当局および「本部」スト破り集団は、「勤労千葉憎し」の一点に集中し、あらゆる手段をつくした組織破壊攻撃に出でくることは必定である。六日全面ストライキ中に、塩川運輸相が閣議の場で「勤労千葉の処分は厳しい態度でのぞめ」と国鉄当局に指示したところ敵の弱さと凶暴化する姿をみてとることができぬ。

国鉄当局は、現在新たな反動攻撃を「本部」スト破り集団を利用しつつ画策している。

その①が、春闘決戦前の大量不当処分策動であり、②わが勤労千葉を相手どつたストライキ摘発訴訟、③職場闘争弾圧のための管理者の人事異動及び、ビラハリ・スローガン闘争弾圧を狙つた「警告書」の乱発である。

しかも許せぬことに「本部」スト破り集団は、勤労千葉破壊のためののみ、「勤労千葉の首を切れ」と当局に泣きついでいるのである。

具体的取り組み

- 一、第二回定期委員会（三月三十日予定）前のできるだけ早い時期に全支部職場集会を開催する。
- 二、三月十六日十九日に全支部職員をもって佐倉・銚子支部オルグを実施する。
- 三、三月二一日、三里塚現地集会に全力で取り組む。
- 四、勤労内外の全国の職闘的労働者（組合）・市民・住民団体等への働きかけを強化する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！